



Sailing Ahead

2025 年 4 月号

親愛なる PIANC の会員の皆様

韓国・釜山での年次総会 (AGA) 前、本号 ('Sailing Ahead') で最終の一式のニュースをお伝えします。総会(5月15日)は100人以上のPIANC会員が参加する Young Professionals (YP, 若手技術者) の Bi-annual Technical Visit (隔年テクニカルビジット) と同時に開催されます。

本号では、オーストラリア・ニュージーランド、日本、ノルウェー、スペイン、アメリカといった様々な PIANC 各国部会・支部のニュースをお届けします。

夏も近づき、氷の話題はいかがでしょうか。PIANC の新設 WG 「港湾と水路における「氷」に対する検討」 'Ice Consideration for Ports and Waterways' について再度紹介します。また、白色より緑色又は青色を好まれる方には、別の新設 WG 「洋上風力発電・基地港湾の設計ガイドライン」 'Design Guidelines for Offshore Wind Ports' というトピックがお勧めです。

The PIANC Yearbook 2024 (PIANC 年報 2024) を発刊、型通り、内容の濃い PIANC の国際的活動の概要と共に 2024 年の各国支部、委員会、WG の活動概要を提供します。

いくつかの興味深いウェビナー/セミナーも 4 月中に開かれ、何人かの PIANC のプラチナ会員の講演者から、貴重な情報が得られました。

最後になりますが、今後のたくさんの興味深い PIANC 会議に登録するのをお忘れなく！例えばテネシー州・メンフィスでの PIANC Smart Rivers 2025 (PIANC スマートリバーズ会議 2025)、PIANC Mediterranean Days 2025 (PIANC 地中海デイズ 2025) などがあります。それぞれ 9 月と 10 月に開催されます。詳細はこのニュースレターでどうぞ。それではニュースレターレターの購読をお楽しみ下さい！多くの皆さんを韓国・釜山での年次総会でお迎えするのを楽しみにしています！

Greet Van Cappellen (ヘルト・ファン・カッペレン)
PIANC 事務総長

日程を押さえてください！

PIANC-SAICE 海洋防舷材ウェビナー 2025年5月8日

The poster is titled "Fireside Chat" and "Port Engineering - Marine Fenders". It lists the date as Thursday, 8th May 2025, the time as 16:30-18:00, and the venue as Microsoft Teams. Three speakers are featured: Tauqeer Ahmed (Pi Tech Eng (MSAK, E.MIPET) Head, Engineering centre of Excellence (CoE)), Marco Gaal (Global Technical Director at Trelleborg Marine Fenders), and Dominique Polte (Board Director at ShibataFender). Logos for SAICE, TRELLEBORG, SHIBATAFENDERTeam, and PIANC are shown at the bottom. A note states "SAICE is an ECSA Recognised CPD Accredited Service Provider".

PIANC 南アフリカは South African Institution of Civil Engineering (SAICE)(南アフリカ土木学会)を通じて 2025年5月8日 16:30 - 18:00 (GMT +02:00)にウェビナーを開催。

SAICE Fireside Chat(炉辺会議)に参加、海洋防舷材技術の非常に重要な観点を探究しましょう。

Marco Gaal 氏 (Trelleborg)が最近の PIANC レポート、「PIANC 防舷材ガイドラインと防舷材の試験」について発表。Dominique Polte 氏 (SHIBATA FENDER TEAM) は、最新の PIANC WG211 レポートを紹介、防舷材のシステム設計と選定を論じます。

本ウェビナーから港湾インフラの最適化、安全な係船オペレーションを確実にする貴重な知識が得られます。ウェビナーは他分野の工学エンジニアやインフラ担当者（それ以外の専門家）も参加でき、討議に参加することをお勧めします

このウェビナーは SAICE Marine, PIANC アフリカ, PIANC 南アフリカの共同協力で開催されます。

登録

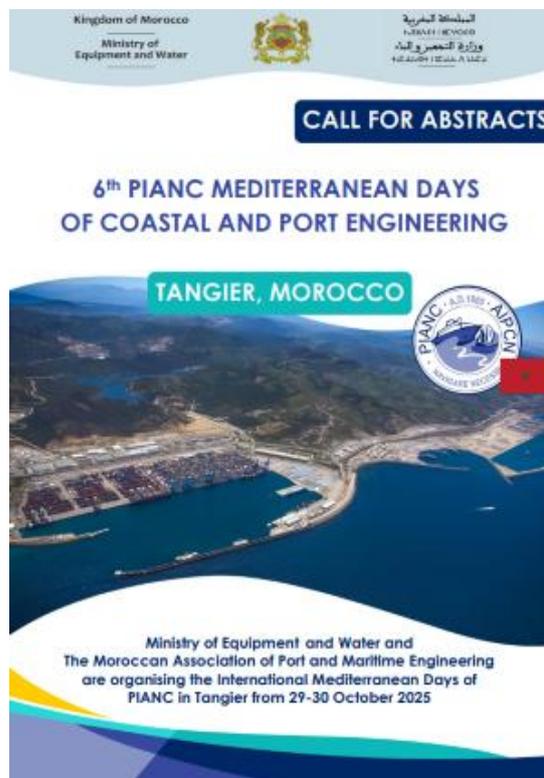
https://url.za.m.mimecastprotect.com/s/XmqwCmw0LyI5980opi0hZcR6a2_?domain=event.s.teams.microsoft.com

PIANC 地中海デイズ 2025 [PIANC Mediterranean Days], モロッコ タンジェ 2025年10月29-30日

モロッコ水資源・設備省とモロッコ港湾・海事協会は、2025年10月29-30日、モロッコ・タンジェにて、PIANC 地中海デイズ 2025 を開催します。

イタリア・パレルモ(2008年), スペイン・バルンシア(2012年), フランス・マルセイユ(2013年), スペイン・セビリヤ(2018年), フランス・セット(2023年)で成果を収めたこの会議は、初めて地中海の北アフリカ沿岸に移ります。

PIANC 地中海デイズ 2025 の詳細については、
<https://www.pianc.org/pianc-mediterranean-days> または会議フライヤーをご覧ください。
[Conference flyer](#)



会議のテーマは、フライヤーに記載されています(2025年4月30日までのアブストラクト提出先 piancmddays2025@mtpnet.gov.ma)

主な日程:

- アブストラクト提出締切 :2025年4月30日
- アブストラクト選考およびアブストラクト採否通知:2025年5月31日
- フルペーパー提出の締切 :2025年9月5日
- 会議開催(地中海デイズ) :2025年10月29-30日

会議に関するご質問は、ナイマ・ハッシン夫人 Mrs. Naima HASSINE または モハメド・アビド氏 Mr. Mohamed ABID までお問い合わせください。

[Mrs. Naima HASSINE](#) または [Mr. Mohamed ABID](#)

2025年10月29-30日にタンジェでお会いできるのを楽しみにしています!

テネシー州メンフィスでの PIANC スマートリバーズ会議 [PIANC Smart Rivers] 2025年9月8-12日

PIANC スマートリバーズ会議 2025 への登録が始まりました!

PIANC USA は、2025年9月8-12日、米国テネシー州メンフィスで PIANC スマートリバーズ会議を開催します。



このPIANC-Smart Rivers 2025の参加登録は、今、受付中です。今すぐ登録して、世界中の専門家と交流して、内陸水運の持続可能な未来を築くビジョンを共に構築しましょう。

内陸水路と持続可能な河川輸送に関するこのプレミアムな国際会議では、テクニカルセッション、[テクニカルツアー](#)、[短期コース](#)、特別なネットワーキングイベントにご参加いただけます。詳しくは [こちらをご覧ください](#)。

PIANC 会員とフルタイムの学生は、登録料が割引になります。待ったなし！ **早期割引は2025年7月1日まで有効です**。この期間限定の割引を利用して、[今すぐ登録](#)しましょう。

PIANC スマートリバーズ会議 2025 の詳細については、[こちらをご覧ください](#)。また、本イベントのスポンサーシップに関心がある方は[スポンサーシップパンフレット](#)をダウンロードしてください！



PIANC-COPEDEC XI インド・チェンナイ 2027年2月21-26日

2024年12月10日 PIANC-COPEDEC XI 国際組織委員会 (IOC) とインド工科大学マドラス校 (IITM) は、PIANC-COPEDEC XI 会議を2027年2月にインドのチェンナイで開催する基本合意書 (MOU) を締結しました。

IITM は、PIANC 公式サイトと IITM の公式サイトにリンクするウェブサイトを2025年5月までに作成する予定です。IITM と PIANC は、初回アナウンスを2025年5月にデジタルフォームで配信する予定です。

PIANC 委員会からのニュース

THE PERMANENT TASK GROUP ON CLIMATE CHANGE (PTG CC) (気候変動に関する常設グループ) ニュース

PTG ウェビナー「エネルギー転換を支える港湾の役割：各国のケーススタディ」'The Role of Ports in Supporting Energy Transition: International Case Studies'



4月29日にPIANC PTG CC ウェビナー「エネルギー転換を支える港湾の役割:各国のケーススタディ」が開催され、約185人が参加しました。

ウェビナーでは、以下の講師による講演を実施：

- Captain Hemant Gupta 氏 (Deputy Director, Drewry Maritime Advisors)
- Stephen Rimmer 氏 (Project Development Lead, Associated British Ports)
- Mark Sherlock Smith 氏 (Associate Director, Jacobs)
- Matthieu Guilmot 氏 (Green Hydrogen Development Manager DEME)

PIANC 主催 (Laurence Banyard, PIANC PTG CC 司会) の本ウェビナーは、大きな成功を収めました。本ウェビナーに参加できなかった方は、録画をこちらの PIANC YouTube チャンネルでご覧いただけます。 <https://www.youtube.com/watch?v=2U+j1KeA804>.

EnviCom (環境委員会) ニュース

WG 256 Understanding Blue Carbon - A Practical Guide 「ブルーカーボンの理解-実践ガイド」の最新情報

このガイドは生態系ブルーカーボンの管理上の2つの主要戦略の重要性を取り上げる予定です。最初に既存のブルーカーボンの生息環境を妨げることなく、貯留された炭素の損失を削減するという極めて重要なニーズに着目しています。このアプローチでは、重要な沿岸域環境において既に貯留されている炭素を保全することを目指します。2番目に、本ガイドでは、過去に劣化した状態または喪失されてしまったブルーカーボン生息環境の強化や再生によって、自然の炭素貯留機能を向上させることの重要性を強調する予定である。

また、本ガイドでは、維持浚渫(土砂)の持続可能な利用が、喪失または劣化した生態系の回復に役立つ可能性について説明する予定です。例えば、適切な条件下で「沖合での浚渫土砂の処分を干潮帯への処理に転換」することで、塩水湿地やマングローブなどのブルーカーボン生態系の形成に必要な条件を整えることが可能です。

WG 256 は、2024 年 9 月にイギリス・ロンドンにて対面式のキックオフ会議を開催しました。本 WG は、米国、欧州、中国、韓国、日本、オーストラリアの 10 カ国から 25 名のメンバーで構成されています。WG 256 は、Nigel Pontee 氏(Jacobs)、William Glamore 氏(the University of New South Wales)、Paul Kraus(Ramboll)の 3 名の共同議長によって率いられています。

本 WG は順調なスタートを切り、順調に進捗しています。最終レポートの大枠の構成を決定し、レポートの主要な章は以下のとおり：

1. 序論
2. ブルーカーボン生態系
3. ブルーカーボン政策における検討すべき点
4. ブルーカーボン・プロジェクトの実施
5. ケーススタディ

各章のとりまとめ責任者も指名され、レポート各章の担当別執筆者がボランティアベースで執筆していきます。幾つかの章では、ドラフト作成を開始し、今後数ヶ月かけて進展・修正していきます。既存の多くの出版物やガイドライン文書が存在することも踏まえ、本 WG では、PIANC 会員向けに簡潔な実践ガイドラインの作成に焦点を当て、重要な対象範囲と明確な指針を解説しながら、適切かつより詳細なガイドラインとなる予定です。PIANC コミュニティ内部でのこれまでの作業内容と対象読者の理解を深めるため、本 WG は会員を対象とした電子アンケートを実施しています。詳細は下記をご確認下さい。

アンケート依頼

PIANC は、会員向けに「ブルーカーボンに関する実践ガイドライン」作成のため、WG 256 を設立しました。本アンケートでは、対象読者を理解し、現在の知識レベルの把握と、これまでの取り組み状況の確認を目的としています。ご多忙中とは存じますが、アンケートにご回答いただけますと幸いです。

アンケート：

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=FJ0TJCzGR0yL3c5x6h1Qz3ee4_NoTWWIo2UYoqFNdMVUNFVESkIVTFVBVIUzVknTNDJXQIVEOTAxMi4

WG256 ニュース (全文) [here](#).

Nigel Pontee
WG 256 共同議長

CoCom (国際協力委員会) からのニュース

PIANC セミナー 'Fender Design and Testing(防舷材の設計と試験)' (於 イスタンブール)



2025 年 4 月 10 日にイスタンブールでセミナーを開催、約 70 人が参加し、続いてオンラインでも開催しました。本セミナーは、トルコ団体会員の 1 つである Dilovas Technology と PIANC CoCom が共同開催しました。セミナーでは最近出版された 2 つの WG レポート成果が提供されました (WG185 'Mooring of Large Ships' (大型船の係留), WG211 'PIANC Fender Guidelines 2024' (PIANC 防舷材ガイドライン 2024))

Dilovas Technology 社の Director である Kayhan Molaci 氏による PIANC の世界全体組織の紹介の後、'How to Safely Moor Large Vessels' (大型船の安全な係留方法) についての技術プレゼンテーションを Erik Broos 氏(ロッテルダム港)と Alex van Deyzen 氏(Royal Haskoning DHV)が行われました。Erik Broos 氏は、新しい「PIANC 防舷材ガイドライン」を活用する利点について説明しました。

昼食後、Mishra Kumar 氏(トレルボルグ)と Dennis Iwanovski (デニス・イワノフスキー) (シバタフェンダーチーム) がトレルボルグのミシュラ・クマールとシバタフェンダーチームのデニス・イワノフスキーが、より具体的なテーマについて講演しました。これらの技術プレゼンテーションの後、トルコ港湾運営者協会 (Türklım) の事務局長であるファルク・ドガン氏が発言しました。彼はトルコ港湾の安全状況の概要を説明し、国際基準への準拠の必要性を強調しました。この点において、当日議論された PIANC ガイドラインは非常に有用であり、PIANC への加盟が強く推奨されました。セミナーは、PIANC CoCom のケイハン・モラチ氏が、PIANC の会員メリットを説明し、加盟方法について説明して閉会しました。ハン・リグテリング PIANC CoCom

昼食後は Mishra Kumar 氏(Trelleborg)と Dennis Iwanovski 氏(ShibataFenderTeam)が、より具体的な話題を取り上げました。

これらの技術プレゼンテーションの後、Faruk Dogan 氏が講演しました。同氏は Türklım (トルコ港湾運営者協会)の事務局長です。トルコ港湾の安全状況の概要、国際基準に従う必要性を説明しました。この点において、PIANC ガイドラインを論議することはとても有益であり、参加者に PIANC の会員登録を推奨しました。

Kayhan Molaci 氏が PIANC 会員の利点を概説し、会員登録方法の説明も含め、セミナーを締めくくりました。

Han Ligteringen
PIANC CoCom

YP-Com (若手技術者委員会) ニュース

第9回 YP-Com 隔年テクニカルビジット(BTV) 釜山 2025



世界中の YP にリマインドです。第 9 回隔年テクニカル・ビジット (BTV) が受付中です！ 2025 年 5 月 14 日～16 日に韓国・釜山で開催される BTV に参加して、韓国最大の貿易港を探索、世界中の PIANC 会員との交流、海事及びウォーターフロント・インフラに関する特別な体験を楽しみましょう。

2 年に 1 回開催されるテクニカル・ビジット (BTV) は、海事及びウォーターフロント・インフラ分野の専門家を対象として、2006 年に若手技術者委員会 (YP-Com) により創設された技術視察ツアーです。その後、本ツアーは YP-Com の主要イベントとなっています。過去の象徴的な開催場所としては、ヴェネツィア水門 (イタリア)、シンガポール港、マースフラクテ II (オランダ)、マイアミ港 (米国) などがありました。

BTV 登録は YP には無料です。しかし、限りがあるのでお急ぎください。BTV では 40 歳以下のみなさんは PIANC 会員の資格の有無を問わずに参加できます。

登録は、ここからアジェンダをチェックして、BTV 詳細を入手して下さい。

[PIANC AGA & BTV 2025](#)

ご質問は組織委員長(ヒョン・ドン・キム, Hyun Dong Kim)までお願いします。

hdkim@pianckorea.org

YP-Com の他の一般ニュースはこちらから引き続きご覧ください。

[PIANC Young Professionals LinkedIn page](#)

次回の YP-Com イベントで皆さんに再会できることを楽しみにしております！

BTV テクニカルセッションの講演者募集

YP-Com では、以下に焦点を当てた 2 つのテクニカルセッションを主催します：

1. 国際的なプロジェクトと革新的な業務に関連する経験
2. PIANC WG への YP の参加

3 月 24 日より応募要領は共有されています。アブストラクト (最大 500 語) の受付を開始します。BTV 参加者のみが提出可能です。引き続き、私たちの LinkedIn ページで更新情報を確認してください！

第 45 回 YP-Com 会議とワークショップ

5 月 15 日 (木) 14:00-17:00 (UTC+9) 韓国・釜山において第 45 回 YP-Com 会議とワークショップを開催することを、今回会議の代表及びオブザーバーの皆様にお伝えすることをとても嬉しく思います。

ケープタウンでの kongress における実りの多い会議後、世界的な活動の企画と私たち協会の発展を支え続けるために、釜山に再集合することを楽しみにしています。

アニヤ・ブルーニング (Anja Brüning)

YP-Com 事務局

PIANC コミュニティからのニュース

PIANC 各国部会・支部(National Sections or National Divisions)より、活動実績や今後のお知らせがあります。



PIANC オーストラリア・ニュージーランドからのニュース

- PIANC オーストラリア・ニュージーランド活動更新情報
[Update on the Activities of PIANC AU-NZ](#)

PIANC 日本からのニュース

- PIANC カンボジアセミナー2025
[PIANC Cambodia Seminar 2025](#)



PIANC ノルウェーからのニュース

- 技術イベント(3月12日,オスロ)港湾ターミナル計画・設計・運営

[Technical Event in Oslo on 12 March on 'Planning, Design and Operation of Port Terminals'](#)



PIANC スペインからのニュース

- IV 会議「港湾におけるイノベーションとデジタルトランスフォーメーション」
[IV Conference on 'Innovation and Digital Transformation in Ports'](#)



- フレームワーク連携協定合意

[Signing of the Framework Collaboration Agreement](#)



PIANC USA からのニュース

- 6月30日：PIANC Smart Rivers の早期割引終了前日
[30 June: a Critical Date for PIANC-Smart Rivers](#)

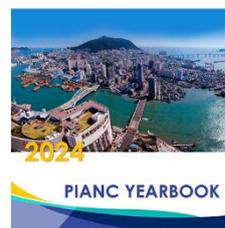
[2025](#)

出版物

発刊中（新刊）

以下の出版物が2025年5月にリリースされます。

PIANC Yearbook 2024 (2024年PIANC年報)



[ここをクリックして、最新の出版物をご覧ください!](#)

PIANC 会員になって節約しましょう。
PIANC の出版物がすべて無料でダウンロード出来ます!

WG メンバーの新規募集

PIANC MarCom (海港委員会) では、以下の WG メンバーを募集中です



新 WG 設置 MarCom WG268：港湾と水路における「氷」に対する検討
メンバー募集締切：2025 年 5 月 30 日

新 WG 設置 MarCom WG269：洋上風力発電・基地港湾の設計ガイドライン
メンバー募集締切：2025 年 6 月 15 日

ご関心ある方は、申込みを各国部会に提出して下さい。各国部会がない場合はこちら
info@pianc.org

姉妹機関からのニュース

IADC ニュース (IADC, International Association of Drilling Contractors)

IADC と CEDA (CEDA, Central Dredging Association) は新規オンラインコース「持続可能なインフラのための浚渫」を開催

水上輸送インフラの開発事業に係る浚渫事業に関わる専門家のために、IADC と CEDA は新規のオンラインコース「持続可能なインフラのための浚渫」を 2025 年 6 月 10, 11, 16, 18 日に開催します。PIANC メンバーは特別料金で参加いただけます。



4 日間(半日)のオンラインコースでは、協会発行の同タイトルの旗艦ガイドブックを基に構成されています。本コースでは、参加者は、浚渫プロジェクトが主要な機能要件を満たしつつ、自然システムと社会経済システムに(新たな)価値を付加する方法を学びます。ここには、浚渫における上記システムの理解、およびプロジェクト開発段階における利害関係者の参画を含みます。経験豊富な講師による「最新の考え方やアプローチ」の説明、手法や技術の解説とともに、数多くの実践例、挑戦的なワークショップやケーススタディを通じて、これらの情報・知識を実践に適用する方法を示します。このコースに参加したエンジニア、生態学者、自然科学者、社会学者、規制当局または出資・金融関係者などは、すぐに実践に活かせる新たな洞察と知識を得ることができま

す。
学習目標、プログラム、講師、費用、登録に関する詳細は、こちらをクリックしてください：

<https://online-dfsi-course-2025.iadc-events.com/>

Ria van Leeuwen

Senior PR & Communications Officer IADC

プラチナ会員からのニュース

シバタフェンダーチーム(SFT: SHIBATAFENDERTEAM)からのニュース

シバタフェンダーチーム(SFT) PIANC の世界各地の技術対話に参加

過去数週間は、活動満載で WG 211 による新しい PIANC の防舷材ガイドラインの知識を共有する機会が幾度かありました。これらイベントでは、単にガイドラインの内容を示して解説するだけでなく、海事コミュニティ内部に幅広い認識と参画を促すという PIANC と専門家 WG により遂行される価値ある貴重な業務に従事しています。

最初の機会は 4 月 10 日イスタンブールでした。PIANC CoCom(国際協力委員会)主催の技術セミナーに Dennis Iwanovski(SFT 東・南東欧州・アフリカ販売部門代表)が防舷材システム設計に対する包括的アプローチを提示し、PIANC 防舷材ガイドライン 2024 の第 5 章と 6 章を概説しました。

直後の 4 月 24 日、PIANC UAE 支部は、役員会の Dominique Polte 氏と他の WG211 メンバーなどを 90 分のオンラインセッションに招待しました。Dominique 氏は、更新された新

ガイドラインにおける新規事項を示し、この分野のゲームチェンジャーとしての包括的アプローチを強調しながら、防舷材システム設計の重要な側面の解説に力を入れました。



これで終わることなく、5月8日、Dominique氏は再び講演者として、CoComとPIANCアフリカ主催の海洋フェンダーにおけるFiresideChatに参加しました。

ガイドラインの完全実施（履行）までちょうど1年となり、この新たなガイドラインを巡る説明は、一層関係が深い事項となります。SFTグループは長年のプラチナ会員として、防舷材システムを先導し、新しいメンバーと本分野の専門家達に、直接体験の機会を提供する、すなわちPIANCネットワークとWGに参加するようサポートし貢献することを誇りに思います。

心より主催者の皆様の貢献に感謝を示すと共に、これからもPIANCコミュニティに従事できることを楽しみにしています。

Empar Dolz González
SFT Spain

TRELLEBORG MARINE AND INFRASTRUCTURE からのニュース

TRELLEBORG の最近の PIANC イベントに貢献

Trelleborg Marine and Infrastructureは4月に2つのPIANCイベントに参加できたことを光栄に思います。イベントでは業界の基準を定めるWG211の防舷材ガイドラインについて、私達の専門家が知見を共有しました。

4月10日のイスタンブールでのPIANCセミナーでは、Mishra Kumar氏(Business Unit Director for Innovation & Technology)から最新の防舷材ガイドラインの総合的な情報を提供しました。



PIANC WG211レポートの主執筆者で、第10章の主要な執筆担当者であるMishra氏は、セミナー参加者に防舷材の製造過程における試験手順、維持管理プロトコル、そして持続性の考慮など、当社が海事インフラ業界に革新的なソリューションを開発し続ける貴重な知見を提供しました。

同月後半の4月24日、Marco Gaal氏(Global Technical Director for Marine Fenders)がPIANC UAE支部のウェビナーにて、専門家パネルに参加しました。WG211のガイドラインにおける12章の主執筆者であるMarco氏は、WG211ガイドラインの実践的な適用と検査方法論を当社の広範囲にわたる経験、ガイドラインに沿った製造、品質保証プロセスを引き合いに出しながら論説しました。

TRELLEBORGは、PIANCや同業者とのこのような協力の機会を大切に思っています。私たちは引き続き、海事インフラの質、安全、持続可能性を向上させる「基準の開発と実施の支援」に専念して参ります。

このような貴重な知識の共有プラットフォームを催してくれたPIANCに感謝すると共に、今後も率先した積極的な参加を楽しみにしています。

Alexandra Yang
Marketing Executive

以下はPIANCのプラチナパートナーです。



ソーシャルメディアでPIANCをフォローしてください!



PIANC @ <https://www.pianc.org/> にアクセス
<https://www.pianc.org/join-pianc/> でPIANC 会員になる